

～犬の飼い主の爪きりに関するアンケート調査結果～

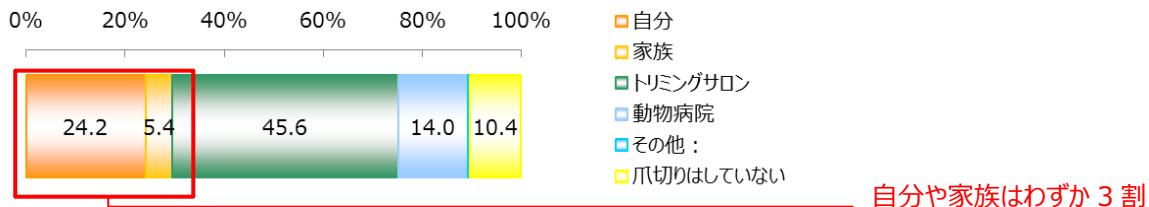
約 7 割が“自分や家族以外の人”が爪切りをしている”と回答。

爪切りができない理由は不安な気持ちから

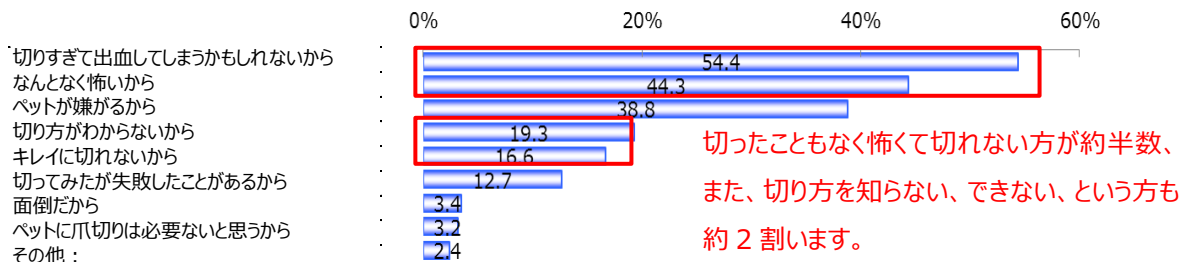
弊社のアンケート調査（2018年2月実施）によると、主に自分が飼い犬の世話をしている一方で、自分や家族が爪切りをしているのは約 3 割。自分たちで爪切りをしない理由は、「切りすぎて出血してしまうかもしれない」「なんとなく怖い」がおよそ半数を占めています。

一方で、自分で安心して切れる爪切り製品があったら、6 割の方が自分でしてあげたいと回答しています。大切なペットの世話を自分自身でしてあげたいのに、怖くてできない日常ケアが爪切りであるということがわかりました。

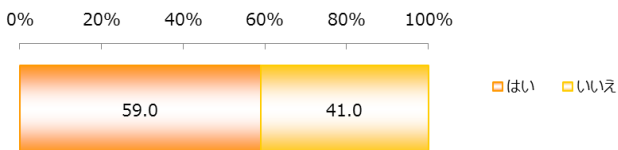
Q. 普段、愛犬の爪切りはどこで誰がしていますか。



Q. 自分で爪切りをしない理由は何ですか。（複数回答）



Q. 自分で安心して切れる爪切り製品があったら、ご自分で爪切りをしてあげたいですか。



【はいの理由】 喜んでもらえるし、自分でも愛着と使命感が高まるから (60代) 自分で上手に安心して爪切りができれば、愛犬との絆も深まりそうだから (20代) 毎回こわいので、少ししかきれないので、安心して切ってもらえるから (60代) トリミングサロンでいつも爪が伸びすぎと言われるので、安心して使えるなら自分でも使いたい。(40代)

(実査調査：楽天リサーチ 2018年2月実施 主に犬の世話をしている女性 500名)

犬の場合、パピーの段階から爪切りに慣らすトレーニングをすることで、飼い主だけでなくトリマーなどのプロに爪切りをしてもらうときのストレスも軽減できるとされています。飼い主自身が爪切りを日常ケアとして、してあげることは飼われている犬の QOL の観点からも大切なことと考えます。

【本件についてのお問い合わせ】 ME クレア株式会社 info@mecrea.co.jp (N&R 合同会社 委託)